



金魚草の管理について

花卉

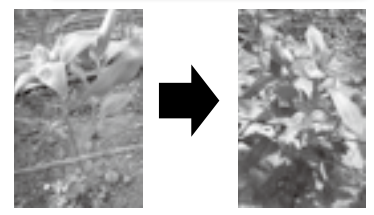
竹川 慶剛
上島営農指導センター
080-1729-1637

1 摘心の前と後の液肥の葉面散布

摘心は主茎が10cm、本葉8～10枚程度に成長した時期に2節残して行う。

摘心の前と後に液肥の葉面散布

(肥料成分 N:P2O5:K2O=10:4:8、500～1,000希釈、2回)で株の充実及び側枝の発生を促す。



2 換気

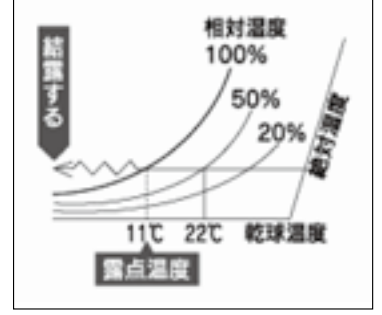
ハウスは、日没後に閉める

暖房によるハウス内気温の上昇は、湿度が低い方が効率よい(燃油消費削減)

温度	15℃	10℃
飽和水蒸気量(決まった値)	12.8g/m ³	9.4g/m ³
絶対湿度(量)	9g/m ³	6.5g/m ³
相対湿度(割合)	70%	70%

この場合10℃だと相対湿度は、90%以上

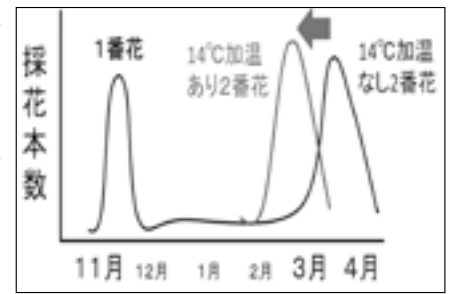
気温は高いほど、空気中に水分を含むことができる。
=空気中に含むことができる水分の量(飽和水蒸気量)は多い!



3 温度管理

加温機の温度設定：日没後2時間を14℃、その他の時間帯6℃

- ・キンギョソウは温度と日長に反応して花芽分化を行い春に花を咲かせる相対的長日植物。
- ・夜間5℃でも正常に生育する。花芽分化・発育を促すためには11℃以上の加温が好ましい。
- ・夜間6℃加温では花芽分化・発育が滞り、気候が良くなってからの開花となる。
⇒ 二番花の収穫時期が3月下旬～4月となる。
- ・キンギョソウでは、日没後の時間帯(17時～19時)を花芽分化・発育に適する温度で管理すると花芽分化・発育が促進されることがわかっている。
- ・二番花の切り花品質は、6℃の終日加温より切り花長は短くなるが、出荷規格の上位階級となる80cm以上の確保は可能。



抑制かぼちゃ今後の管理

野菜

坂田 沙貴
上島営農指導センター
080-1759-0091

1. 肥培管理

大玉果を生産するには約30枚程度葉数が必要となります。
追肥は、着果節位の雌花が開花直前に行い、2回目は着果確認後施用します。
追肥位置は、株元及び着果節周辺に行います。

2. 交配

着果位置は、1本仕立ての場合は13～15節に着果させます。下段着果は、小玉につながるの株元周辺の果実は必ず摘果しましょう。交配の時間は、授粉率を高めるために午前9時頃までに終えます。

3. 整枝・摘果

果実がソフトボールより少し大きく肥大したら、土に接している所にマットを敷きます。
着果節位以降は放任でもよいですが、摘心する場合は本葉15～20枚以上を残します。

4. 病害虫防除

害虫

農薬名	使用回数	使用時期	使用回数	対象害虫
カスケード乳剤	2000倍	収穫前日	3回	ハモグリバエ
アフーム乳剤	2000倍	収穫前日	2回	アザミウマ類
モスピラン顆粒水溶剤	2000～4000倍	収穫前日	2回	アブラムシ、ウリハムシ

病害

着果時期又は朝夕涼しくなってくるとうどんこ病の発生が見えはじめます。

農薬名	使用回数	使用時期	使用回数	対象病害
トリフミン水和剤	3000～5000倍	収穫前日	5回	うどんこ病
イオウフロアブル	500倍	収穫前日	制限なし	うどんこ病
ダコニール1000	1000倍	収穫7日前	3回	うどんこ病・べと病
Zボルドー	500倍	収穫前日	制限なし	果実斑点細菌病

※うどんこ病が発生した場合は、薬量を多めにしてもたっぷり洗い流すように散布してください。

※日中の高温時(30℃以上になる時)には薬剤の散布を避けてください

5. 収穫

交配後、50～55日(積算温度1000℃)程度を目安に収穫します。必ず1～数玉試し切りし、果肉の色がオレンジ色になっているか(黄色ではまだ早い)、種は充実しているかなど確認し、未熟果での収穫を避けてください。(腐敗の原因となります)
交配日が幅広い所については、分けて収穫を行います。
収穫後、生り口を短く切り返し、1週間程度陰干し乾燥させた後、土汚れなどを布でよく拭きあげます。



10月・11月の柑橘園管理

果樹
原口 悠貴
下島営農指導センター
080-2725-7775

1. 病害虫防除

品種	対象病害虫	防除時期	農薬名	希釈倍数	使用回数	収穫前使用可能日数
温州	貯蔵病害	収穫前	ベフラン液剤 混用	2,000倍	2回以内	前日まで
			ベンレート水和剤	4,000倍	2回以内	前日まで
	浮皮防止対策	10月上～中旬	シリカプロー	1,000倍	—	
	浮皮防止対策	10/中～11/上旬	シリカプロー	1,000倍	—	
中晩柑	黒点病	10月中旬	ナティーボフロアブル	1,500倍	3回以内	前日まで
	褐色腐敗病	発生初期	ジャストフィットフロアブル	5,000倍	3回以内	前日まで
共通	ミカンハダニ	9月下旬以降～(発生時)	ダニコングフロアブル	3,000倍	1回	前日まで
			ダニオーテフロアブル	3,000倍	1回	前日まで
	ミカンハダニ ホコリダニ		スターマイルト水和剤	2,000倍	2回	7日前まで
	カメムシ	発生時	スターフル顆粒水溶剤	2,000倍	3回	前日まで
			テルスターフロアブル	5,000倍	3回	前日まで

2. 施肥

○通常タイプ

対象品種	10a 当たり	施肥時期	肥料名	対象品種	10a 当たり	施肥時期	肥料名
極早生温州	7袋	10月上旬	ニュー熊本果樹3号	清見、甘夏、 河内晩柑、パール柑	5袋	11月上旬	ニュー熊本果樹3号
ポンカン、早生・ 普通温州	3袋	11月上旬		デコボン	4袋		

3. 河内晩柑落果対策

1回目(1～2分着色時): マデックEW 2,000倍 + 尿素500倍 2回目(1回目から20日後): マデックEW 2,000倍 + 尿素500倍

4. デコボンの水腐れ軽減対策

散布適期を逃さない様、貯蔵病害の薬剤散布前に単剤で行いましょう。
ジベレリン液剤の散布 ※40mℓの場合(0.5～1ppm)

対象品種	実施時期	薬剤名	使用濃度	1ビン当たりの水量	使用液量(10a当り)	収穫前日数
デコボン	着色終期	ジベレリン液剤	0.5ppm	400ℓ	50～500ℓ	7日前まで
			1ppm	200ℓ		



果樹営農情報についてお詫びと訂正

2023年9月1日発行の9月号にて施肥時期について誤りがありました。謹んでお詫び申し上げますとともに、下記の通り訂正いたします。

P7 施肥 ●通常タイプ
誤 極早生 ニュー熊本果樹3号 施肥時期9月上旬
正 極早生 ニュー熊本果樹3号 施肥時期10月上旬

花卉部会総会 販売高2年連続5億5000万円超え

花卉部会は9月8日、天草市で第31回JAあまくさ花卉部会通常総会を開きました。会員、来賓ら25人が集まり、2022年度事業経過報告並びに収支決算、23年度事業計画案並びに収支予算について可決・承認されました。

札元勇起部会長は「2年連続5億5千万を超える実績となり明るい話題となった。変化する時代の流れに対しどこにチャンスがあるか考え品質向上に取り組んでいこう」と挨拶しました。23年度は、主力のカスミソウ・トルコギキョウ・キンギョソウの栽培技術向上による品質の高位平準化を進め所得向上や、消費者・販売店の嗜好に合わせて品目転換、市場や消費者へ積極的なPRをしていくことを決め、販売高4億8000万円、出荷本数503万本を目指します。



挨拶する札元部会長

新役員は次の通り

部会長 岩本俊治 副部会長 福田直 副部会長 岩下靖